



レベラー更新に向け建屋増築工事が進む

有力コイルセンター津博俊氏は、須賀川の根津鋼材（本社・東事業所（福島県須賀川市横山町）、社長・根津博俊氏）の大型レベラーを8月にも全面リプレースする。最新鋭機を導入することで顧客の要求する厳しい平坦度を満たすほか、漸増する厚物二大板厚が2・3ミ

が、それ以上の厚物二サイズも増えており、現在は外注委託を余儀なくされている。ラインを一新することでフラット面と対角精度面および厚物対応力を強化し、内製化を促進する。設置工事は着々と進んでおり、8月中には設置・操業開始する運びだ。

向け先は電機関連が多いこともあり、コイルの巻き戻し比率も高い。また、切板生産も小ロット多品種で、二次加工（リシヤ）向

# 根津鋼材

## 須賀川 高精度、厚物対応を強化

# 大型レベラーを全面更新

ズにも対応する。今回、入り側（母材搬入側）には待機用コイル台車6基を、出側（製品搬出側）には2連パイラ

ー（集積装置）とオフライン梱包ヤードを設置し、生産性と物流の効率化を進める。須賀川事業所（所長・永山良久取締役）の大型レベラーは稼働から20年余が経過し、最近のシビアなフラット精度要求を満たせずクレームの対象になったこともある。また、最大板厚が2・3ミ

レイアウトも変更するため既存建屋の一部を増築。新ラインの稼働後、既存ラインは撤去する予定だ。